

《 北海道歯科医師野球連盟競技規則 》

1. 構成

参加チームを前年度の成績順に、A、B、Cの3つのゾーンに分けて競技を行う。

2. 競技方法

- 1) 各ゾーンでの予選は、各ブロックでリーグ戦を行い、それぞれのブロック代表チームを決定する。
- 2) 各ゾーンにおける準決勝、及び決勝戦は、ブロック代表によるトーナメントを行い、優勝チームを決める。

3. 予選リーグ

- 1) 各ゾーンとも、5回戦、または試合時間を1時間30分（不慮の事故の発生によりその解決に要した時間を除き、交代、疑義などの話し合いの時間を含む）とし、1時間20分を越えて新たなイニングに入ることは出来ない。但し、イニングの経過中の場合は、そのイニングの終了までとする。
- 2) 次の場合に該当する時、コールドゲームを適用する。
 - ① 劣勢のチームの攻撃が3回終了時において、点差が10点以上のとき。
 - ② 後攻めのチームの3回の攻撃終了までに点差が10点以上になった場合。このとき、スリーアウトにならなくとも良い。
 - ③ 競技中の不慮の出来事による途中棄権が発生した場合、コールドゲームを適用し、棄権したチームに対しては、試合経過の如何を問わずコールド負けを適用する。
- 3) 同点での試合終了を認める。
- 4) 予選リーグ開催日当日に限り、予選リーグを終了し、成績確定がなされた後、ブロック代表チームに止むを得ない状況が発生し、翌日の準決勝・決勝トーナメントへの出場が困難となった場合、次のように取り扱うものとする。
 - ① 該当するチーム代表監督は、主催者にすみやかに連絡を行ない、承認を得る。
 - ② この場合、ブロック第2位のチームが準決勝・決勝トーナメントへの出場資格を得る。
 - ③ 但し、予選リーグでの成績は、ゾーンでの順位（第5位以下）に反映される。

4. 準決勝

- 1) 各ゾーンとも、5回戦、または試合時間を1時間30分（不慮の事故の発生によりその解決に要した時間を除き、交代、疑義などの話し合いの時間を含む）とし、1時間20分を越えて新たなイニングに入ることは出来ない。
- 2) 次の場合に該当する時、コールドゲームを適用する。
 - ① 劣勢のチームの攻撃が3回終了時において、点差が10点以上のとき。
 - ② 後攻めのチームの3回の攻撃終了までに点差が10点以上になった場合。このとき、スリーアウトにならなくとも良い。